

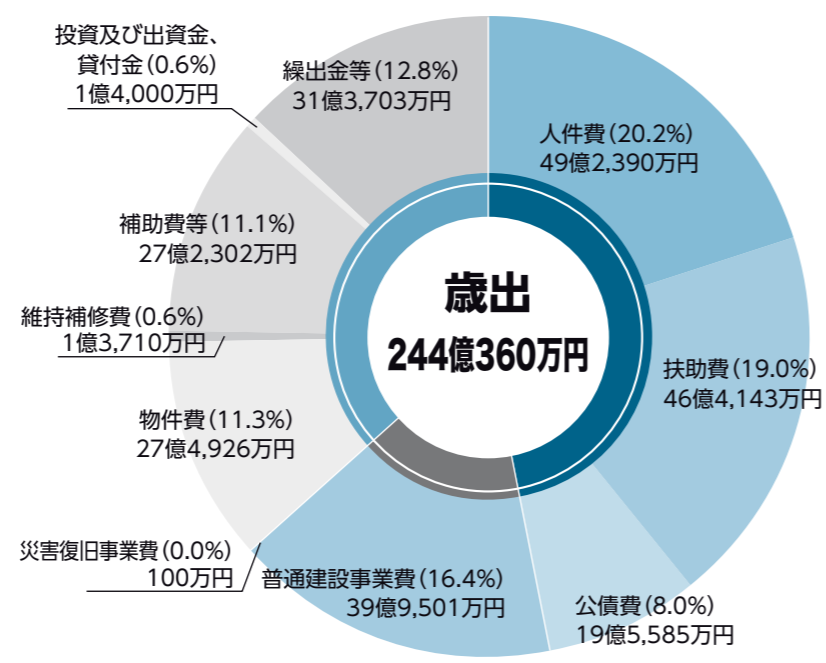
令和2年度 坂出市予算

一般会計当初予算額244億360万円 防災対策・人口増対策に重点

令和2年度の一般会計当初予算額は前年度比2.1%減（5億2,990万円減）となる244億360万円を計上しました。昨年度に引き続き、防災対策に重点を置き、安全・安心のまちづくりの実現に向け、防災拠点としての新庁舎建設事業、津波・高潮対策、ハザードマップ作成事業などの事業に積極的に予算を投入しました。

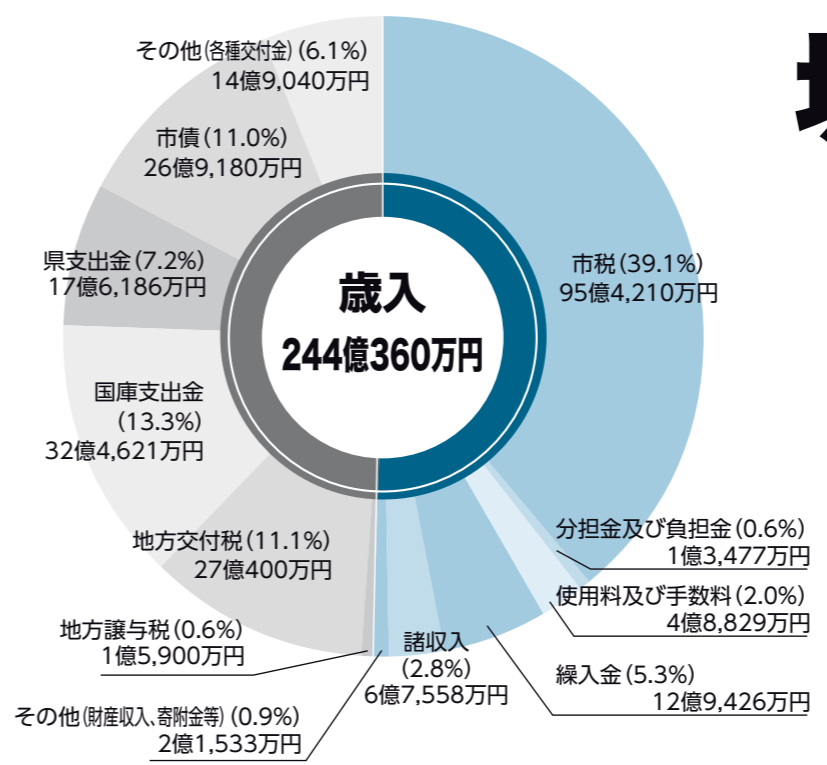
併せて、人口増対策および子育て支援において、認定こども園整備事業、保育士の確保事業なども重点配分しました。また、中小企業や起業希望者に対する提案解決型支援および伴走的な実行支援を行う中小企業支援センター（Biz）事業など、各種施策に予算を計上しました。

歳出の内訳【一般会計】



■ 義務的経費 115億2,118万円(47.2%)
■ 投資的経費 39億9,601万円(16.4%)
■ その他経費 88億8,641万円(36.4%)

歳入の内訳【一般会計】



■ 自主財源 123億5,033万円(50.7%)
■ 依存財源 120億5,327万円(49.3%)

Column 予算って どうやって作られているの？

令和2年度の予算編成は前年の10月頃から、全職員が一体となって取り組んでいます。

DATE 10月
市長より、新年度予算編成における基本指針や方向性を示した「予算編成方針」が全職員に通知されます。担当課は、これに基づき、次年度の事業実施に必要な額を計算し、予算作成を担当する政策課へ提出します。

DATE 10～12月
政策課は各担当課から提出された要求額を査定し、その後、各課からの復活折衝協議などを経て、予算案をまとめていきます。この過程では、「働きたい 住みたい 子育てしたい 共働のまち さかいで」の実現に向け、予算に反映させるなど、さまざまな観点から事業の取捨選択を行っています。

DATE 1月
市長自ら予算案を精査し、必要な指示・修正を終えると、予算案が完成。

DATE 3月
予算案は議会で審議され、議決を経てはじめて正式な予算となります。

坂出市の家計簿

坂出市が年収400万円の家庭だったら...

収入	
給料(市税)	156万円
親からの仕送り (国庫支出金・地方交付税等)	154万円
ローン借入(市債)	44万円
パート収入(諸収入・使用料等)	25万円
貯金から引き出し(繰入金)	21万円
合計	400万円

支出	
食費(人件費)	81万円
子どもへの仕送り(繰入金・補助費等)	89万円
医療費(扶助費)	76万円
光熱水費・日用品費(物件費)	45万円
家の増改築費(普通建設事業費等)	66万円
ローンの返済(公債費)	32万円
貯金(積立金)	7万円
知人への貸し付け等(貸付金等)	2万円
家具などの修理代(維持補修費)	2万円
合計	400万円

会計名	令和2年度	令和元年度	増減率(%)
一般会計	244億360万円	249億3,350万円	▲2.1%
特別会計	134億6,962万円	149億1,354万円	▲9.7%
国民健康保険	64億686万円	65億5,498万円	▲2.3%
与島診療所	735万円	738万円	▲0.3%
港湾整備事業	2,073万円	2,025万円	2.4%
王越診療所	1,174万円	1,152万円	1.9%
下水道事業	0	14億9,854万円	皆減
駅北口地下駐車場事業	7,469万円	1億179万円	▲26.6%
介護保険	58億8,298万円	57億2,142万円	2.8%
介護予防支援事業	5,937万円	6,060万円	▲2.0%
後期高齢者医療	10億590万円	9億3,706万円	7.3%
企業会計	88億996万円	65億2,162万円	35.1%
市立病院事業	67億2,783万円	65億2,162万円	3.2%
下水道事業	20億8,213万円	0	皆増
総合計	466億8,318万円	463億6,866万円	0.7%

※令和2年度より、下水道事業は地方公営企業法の財務規定等の適用に伴い、企業会計に移行しました。

用語説明

- 自主財源** 市が自らの手で徴収または収納できる財源(市税、使用料等)
- 依存財源** 国または県が関わる財源(地方交付税、国・県支出金、市債等)
- 義務的経費** その支出が義務づけられ、任意に削減できない経費(人件費、公債費等)
- 投資的経費** 社会資本の整備に要する経費(道路整備、学校建設等)
- その他の経費** 物件費や維持補修費などに支出される経費

令和2年度 主要事業

令和2年度当初予算に計上した主要事業について、「働きたい 住みたい 子育てしたい 共働のまち さかいで」の実現に向けた取り組みを分野ごとに紹介します。

1 自立・信頼(新規)
**学校給食センター
整備事業**
1,300万円

PFIによる事業手法を採用し、令和2年度より4,000食規模の学校給食センター整備に着手します。

2 安全・環境(新規)
**Net119緊急通報
システム委託料**
300万円

聴覚・言語障がい者が円滑な119番通報を行うため、いつでも全国どこからでも音声によらない119番通報がスマートフォン等のできるシステムを導入します。

2 安全・環境(新規)
**多言語コールセンター
サービスシステム委託料**
47万円

外国人からの119番通報時や救急活動時に、迅速かつ的確に対応するため、電話通訳を介して24時間365日主要な言語で対応します。

5 快適・憩い(新規)
公園整備事業(緩衝緑地整備) 9,700万円

坂出緩衝緑地(東大浜地区)の一角に人が集まり、交流することができるよう、芝生広場の整備や移動販売車が出店できるエリアを駐車場とともに整備します。

4 教育・文化(継続)
**オリンピック聖火リレー
実施事業**
341万円

東京2020オリンピック・パラリンピックへの期待や機運を高めるため、市役所→坂出駅のコースと与島コースにおいてオリンピック聖火リレーを実施し、またパラリンピック聖火フェスティバルにも参加し、市民の皆さまがオリンピック関連行事に接する機会を提供します。



1
自立・信頼
自立・信頼

2
安全・環境
安全・環境

3
安心・健康
安心・健康

4
教育・文化
教育・文化

5
快適・憩い
快適・憩い

6
魅力・活気
魅力・活気

2 安全・環境(拡充)
**住宅用太陽光発電
システム等設置事業
補助金(蓄電システム)**
2,000万円

新たに蓄電システムへの補助を創設し、太陽光発電の有効利用を促すことで、エネルギー起源CO2の排出削減を推進します。
→ 詳細は10ページをご覧ください。

3 安心・健康(新規)
**保育従事職員
資格取得支援事業
補助金**
90万円

市内の公立または私立保育所等に勤務するかたが、保育士資格を取得する際の経費の一部を補助します。対象経費は保育士養成機関または保育士試験受験講座の入学料・受講料です。
→ 詳細は10ページをご覧ください。

3 安心・健康(新規)
認定こども園整備事業
3億4,020万円

既存施設の改修工事を行い、幼稚園と保育所を統合して認定こども園に移行します。

【府中地区】
保育所を認定こども園として開設し、同時期に幼稚園の改修に着手します。工事完了後は幼稚園を認定こども園として開設します。

【川津・松山地区】
幼稚園の改修工事を行い、令和3年度に認定こども園として開設します。

3 安心・健康(新規)
**潜在保育士等
就職支援奨励金**
70万円

潜在保育士等が市内の私立保育所等に就職するために就職奨励金と転入奨励金を給付します。
→ 詳細は10ページをご覧ください。

4 教育・文化(新規)
讃岐国府跡保存活用計画資料作成業務委託料
370万円



昨年、国の史跡指定の答申が行われ、国府跡としては四国初の国史跡となった讃岐国府跡。その史跡整備や活用事業の実施に向け、「史跡讃岐国府跡保存活用計画書」を策定するため、資料作成業務を委託します。

6 魅力・活気(新規)
中小企業支援センター(Biz) 事業
2,544万円

市役所の東館に中小企業支援センターを開設し、相談員(センター長)および事務スタッフ2名が中小企業や起業を希望するかたの相談に応じます。同センターでは、アドバイスだけでなく事業の完結まで取り組む提案解決型の支援や、伴走型の支援を行います。